

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.11)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)清環会サービス付き高齢者向け住宅新築工事	階数	地上3F
建設地	厚木市小野字桐山2239-1 外6筆	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、防火地域指定無し	平均居住人員	100 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年2月 予定	評価の実施日	2014年11月20日
敷地面積	6,016 m ²	作成者	株式会社安江設計研究所
建築面積	931 m ²	確認日	2014年11月20日
延床面積	2,805 m ²	確認者	株式会社安江設計研究所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<p>Q1のスコア = 2.9</p>	<p>Q2のスコア = 3.1</p>	<p>Q3のスコア = 2.7</p>

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<p>LR1のスコア = 3.6</p>	<p>LR2のスコア = 3.0</p>	<p>LR3のスコア = 3.2</p>

3 設計上の配慮事項

総合	その他
LED照明を採用し、節電に配慮している。	
Q1 室内環境 内装材は全面的にFを採用している。全館禁煙である。	Q2 サービス性能 個室10m ² /床以上、多床室8m ² /床以上である。非常用発電設備を設置している。電源設備・精密機械の地下空間への設置を避けている。耐震クラスAを採用している。
Q3 室外環境(敷地内) 外構緑化指数20%以上である。夜間照明を設置し、防犯性に配慮している。	LR1 エネルギー ERR換算値=26%である。
LR2 資源・マテリアル 自動水栓に加え、節水便器を採用している。躯体+軽鉄+仕上材のディールで、GL工法とOAフロアを採用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ =83%である。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される